

# 週1回の注射で痩せる

## 画期的な新薬が薬事承認申請

「肥満症の治療は今後、劇的に変わっていきます。」  
こう言うのは、神戸大学糖尿病・内分泌内科学部門の小川涉教授。小川教授が作成委員長を務め、6年ぶりに改定された「肥満症診療ガイドライン2022」も近々刊行予定だ。

肥満症と肥満は違う。  
「肥満症は日本肥満学会が中心となり2000年に提唱した考え方で、肥満は太っている状態を指し病気ではありませんが、肥満症は病気で、治療が必要。BMI(体重kg/m<sup>2</sup>×身長m<sup>2</sup>)の2乗が25以上、かつ肥満の原因とする健康障害がある場合、肥満症と診断されます。」(小川教授以下同)  
肥満の原因とする健康障害とは、2型糖尿病、脂質



### 対象は「肥満症」

異常症、高血圧、高尿酸血症・痛風、心臓病、脳梗塞。意外なものでは、月経異常や妊娠合併症といった産婦人科疾患、睡眠時無呼吸症候群、整形外科的疾患、がんも肥満と関係が深い。内臓脂肪が過剰になる肥満症では、脂肪組織から悪玉の生理活性物質アディポサイトカインが多く分泌され、善玉のアディポサイト

異常症、高血圧、高尿酸血症・痛風、心臓病、脳梗塞。意外なものでは、月経異常や妊娠合併症といった産婦人科疾患、睡眠時無呼吸症候群、整形外科的疾患、がんも肥満と関係が深い。内臓脂肪が過剰になる肥満症では、脂肪組織から悪玉の生理活性物質アディポサイトカインが多く分泌され、善玉のアディポサイト

### 肥満は太っている状態。"症"つけば治療の対象

今回の承認申請は、肥満症にGLP-1受容体作用薬が効果があるというエビデンスを得た上でのことだ。承認後は、もちろん保険適用。  
なお今回薬事申請されているもの以外でも、GLP-1受容体作用薬関連のほかの薬が複数、臨床試験中で、今後続々と承認される可能性がある。  
「肥満症には手術という治

「肥満症は日本肥満学会が中心となり2000年に提唱した考え方で、肥満は太っている状態を指し病気ではありませんが、肥満症は病気で、治療が必要。BMI(体重kg/m<sup>2</sup>×身長m<sup>2</sup>)の2乗が25以上、かつ肥満の原因とする健康障害がある場合、肥満症と診断されます。」(小川教授以下同)  
肥満の原因とする健康障害とは、2型糖尿病、脂質

「肥満症は、体質や遺伝子も関係しているのに、個人に責任が押し付けられやすい。自己管理できない人と肥満専門医が勤務する認定肥満学会のHPで紹介されて

「肥満症は、体質や遺伝子も関係しているのに、個人に責任が押し付けられやすい。自己管理できない人と肥満専門医が勤務する認定肥満学会のHPで紹介されて